

精密な心臓カテーテル検査ができるようになりました

◆ 冠動脈に病変がない方でも胸痛、息切れの精査が可能です

胸の痛みや息切れの原因には狭心症や心筋梗塞といった病気があります。これらは心臓を取り囲む血管（冠動脈）が動脈硬化等によって狭窄や閉塞をきたしたものです。

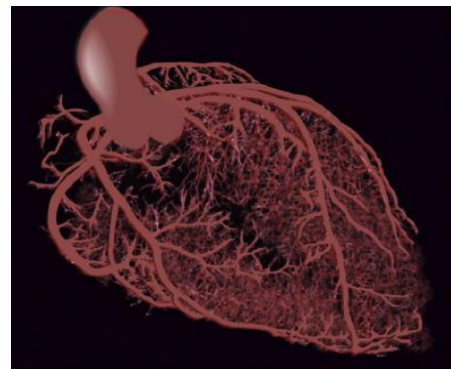
これまでも冠動脈評価は造影CTや心臓カテーテル検査などで行われてきましたが、CTやカテーテル検査では目に見える血管しか評価できません。

近年、目に見える血管に異常がなくても、目に見えない血管（微小血管）に異常があり胸部症状の原因となることが注目されています。

【目に見える血管】



【目に見えない血管】



J Am Coll Cardiol. 2018;72:2625

◆ 検査方法

心臓カテーテル検査時にプレッシャーワイヤーと呼ばれる特殊なワイヤーを使用し、冠血流予備能（CFR: coronary flow reserve）や微小血管抵抗指数（IMR: index of microvascular resistance）と呼ばれる数値を測定し微小循環障害の診断を行います。



プレッシャーワイヤー

◆ 合併症

通常的心臓カテーテル検査、治療と同様です。

◆ 治療

検査結果により生活指導や薬物治療を行います。

※ 当院ではプレッシャーワイヤーを導入し心臓カテーテル検査による微小血管の評価も積極的に行っておりますので、お気軽に循環器内科へご紹介ください。

循環器内科副部長 原田 一宏